

令和元年度 第2次健康ふちゅう21構成事業評価まとめ

1. 実施時期: 令和元年11月
2. 対象: 第2次健康ふちゅう21(府中市保健計画)推進に向けた構成事業
庁内16課 56事業
3. 実施内容: 「第2次健康ふちゅう21構成事業評価シート」を各課に依頼し、
回答を集計
4. 令和元年度評価区分評価内訳:

評価区分		事業数
A 重点化・拡大して継続		3 (5.4%)
B 現状なまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	51 (91.1%)
	2 見直しには法令等の改正が必須	1 (1.8%)
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早	0 (0%)
	4 現状では見直しが不可能	0 (0%)
C 見直しして継続	1 見直し・縮小	1 (1.8%)
	2 他事業との整理・統合	0 (0%)
D 休止・廃止等	1 休止	0 (0%)
	2 廃止	0 (0%)
	3 完了	0 (0%)
合計		56 (100.0%)

5. 各課回答状況(資料1-2参照)(5つの重点目標毎に整理した)

重点取組5 地域のつながりを強化する 主な対象事業の回答について

事業名	主管課	主管課評価
元気いっぱいサポート事業	健康推進課	A
高齢者見守ネットワーク事業	高齢者支援課	B-1
青少年健全育成事業(子どもの緊急避難の家)	児童青少年課	B-1
コミュニティ事業運営事業(市民団体による活動)	地域コミュニティ課	B-1

重点取組5以外で、主管課が「主な事業の目的」を「え：地域ぐるみ、まちぐるみで取り組む」としている事業

基本方針	事業名	主管課	主管課評価
4	地域まつり運営事業	地域コミュニティ課	B-1
1	避難行動要支援者事業	高齢者支援課	B-1
1	生活保護相談	生活援護課	B-1
1	消費生活相談	経済観光課	B-1
1	自殺対策	健康推進課	B-1
2	摂食・嚥下機能支援システム	健康推進課	B-1
3	歯科医療連携	健康推進課	B-1
1	新型インフルエンザ等対策検討会	健康推進課	B-1
1	薬物乱用防止推進事業	健康推進課	B-1

基本方針

1. 健康意識を高める
2. 健康的な生活習慣を身に付ける
3. 健康管理を実践する
4. ソーシャルキャピタルを醸成する

重点取組

1. こころの健康を意識する
2. 健康危機に備える
3. 元気体重を維持する
4. ライフステージに応じて定期的に健（検）診を受診する
5. 地域のつながりを強化する

第2次健康ふちゅう21構成事業評価シート(R1回答用)

【参考】

評価年月: 令和元年11月

1、事業の概要

事業名	元気いっぱいサポーター養成講座	事業番号	25						
事業の概要	健康づくりのきっかけや取組を周囲に広げる担い手で、市と協働して健康づくり対策を推進していく市民ボランティア。								
第2次健康ふちゅう21	基本目標	自らの健康は自らがつくり守るまち府中							
	基本方針	健康意識を高める	健康的な生活習慣を身に付ける	健康管理を実践する	ソーシャルキャピタルを醸成する				
	取組	生活習慣病	こころの健康	元気体重	健やかに育つ	健診受診	精密検査	地域のつながり	連携協働
		健康情報	事業の活用	食生活	運動習慣	定期的受診	心の不調	触れ合うまち	
		危機の備え	飲酒量	睡眠	タバコ	かかりつけ			
			悪化防止	機能の維持					
主管部課名	福祉保健部健康推進課成人保健係								
根拠法令	健康増進法	区分	新規	継続					
背景	平成17年第1次健康ふちゅう21(府中市保健計画)策定時、府中市の元気を応援してくれる人として、元気いっぱいサポーターの登録を開始。平成28年にはウォーキングマップの見直し、からだ★スキャン大測定会平成27年度より、第2次計画がスタートし、サポーターが市と協働して、健康づくりをすすめる中で、計画の重点取組である「地域のつながり強化する」担い手としての活動を期待している。								
課題	市と協働して健康づくりの活動を開始したばかりなので、単発の活動が多く市が主導で事業展開しているものが主になっている。今後、リーダーを発掘、育成して元気いっぱいサポーターの自主的な活動が望まれる。								
前年度(平成30年度)事業計画	①サポーターの取組に関するアンケート実施(サポーター登録者対象) ②H30元気いっぱいサポーター養成講座:年1回。5日間連続講座。内容にゲートキーパー研修を追加し、こころの健康づくりに関することを充実 ③サポーターリーダーの活動支援:H28.29養成講座卒業者(ノルディックでつながる会)月1回定例+④の運営 ④ノルディックウォークイベントの開催:年3回 ⑤読み聞かせボランティア養成講座:年1回。12回連続講座。②のレベルアップ講座としてを実施。今後のSOSの出し方教育(自殺対策事業)でのボランティア活動につなげる。								
今年度(令和元年度)事業計画									

地域のつながりが希薄になり、健康づくりは個人の取組に任されてる現状がありますが、始められない、続けられないなど、限界があります。

第2次健康ふちゅう21では市民相互のつながりや支え合いにより、地域ぐるみで健康づくりや安全・安心を広げていくことを目指しています。

まちぐるみ、地域ぐるみの健康づくりや安心・安全の意識が個人の健康や安全・安心につながります

2、主な事業の目的

あ	健康づくりのきっかけづくりになる	○
い	事業の参加者同士が知り合える	○
う	市民相互のつながりにより、取組が周囲に広がる	○
え	地域ぐるみ、まちぐるみで取り組む	◎

[事業の評価区分](平成27年度～31年度の評価時に使用)

A	重点化・拡大して継続
B	現状のまま継続
	1 大幅な見直しは必要ない
	2 見直しには法令等の改正が必須
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早
	4 現状では見直しが不可能
C	見直しして継続
	1 見直し・縮小
	2 他事業との整理・統合
D	休止・廃止等
	1 休止
	2 廃止
	3 完了

主となっているものに◎、該当するものに○

3、事業の評価

平成26年度		平成27年度	
現状値	平成31年度の目標値(評価の指標)	現在値	評価
元氣いっぱいサポーター登録数(当該年度末) 個人:683人 団体:31	・元氣いっぱいサポーターの登録数を増やす。 ・団体サポーターと連携した活動の展開。 ・サポーターリーダーを育成し、市と協働して健康づくりの仕組みをつくる。	元氣いっぱいサポーター登録数(当該年度末) 個人:1,007人 団体:31	・市民登録者601名にアンケートを実施。回答数325名(回答率54.1%)健康度、満足度、リーダーへの関心等を聴取。 ・健康応援ウォーキングマップの更新をサポーターと行った。ルートの確認と変更、新たなコースを作成し、安全で歩きやすいマップになった。 ・9月のからだ★スキャン大測定会では、大多数の人が来所し混乱を極め苦情が多かったため、2月はサポーターと一緒に改善点を考えスムーズな実施ができた。
事業費 0 (千円)		事業費 0 (千円)	評価区分 A
平成28年度		平成29年度	
現在値	評価	現在値	評価
元氣いっぱいサポーター登録数 個人:1,236人(当該年度末) 団体:26	・登録者1,051人にアンケートを実施。回答数396人(回答率37.7%) ・からだ★スキャン大測定会をサポーターと協働し実施した。 ・H27年度に更新した健康応援ウォーキングマップを使用し、サポーターと協働してンルディックウォーク大会を実施。(61名参加) ・養成講座2日間実施。(18名)	元氣いっぱいサポーター登録数 個人:1,413人(当該年度末) 団体:26	①登録者1,271人にアンケートを実施。回答数404人(回答率31.2%) ②養成講座:5日間。参加者16名 ③H28.29養成講座卒業生支援 ・ノルディックウォーク(1回) ・こころのフォローアップ講座(1回) ・からだ★スキャン大測定会:サポーターと協働実施(2日間。1日目111人+2日目86人=197人)
事業費 11.7 (千円)	評価区分 A	事業費 542.3 (千円)	評価区分 A
平成30年度		平成31年度	
現在値	評価	現在値	評価
事業費 (千円)	評価区分	事業費 (千円)	評価区分

4、今後の取組

令和元年11月現在での令和2年度に向けた課題・計画	(参考:H30)・サポーターリーダー(つながる会)の自主化に向けた支援 ・H30サポーター養成講座卒業生の活動の支援 ・読み聞かせ養成講座後の活動支援(技術面のアップのために活躍できる場を広げる) ・市と市民と一緒に取り組める内容や市民同士が自主的に取り組める内容等、自主化や協働のスタイルを検討していく。 ・31.4月の市民アンケートで第2次計画の評価、第3次計画策定に向けた準備を行う。
本事業は市民同士の交流等地域のつながりがありますか。またつながりを強化するためにできそうな工夫や取組がありますか。	つながりあり・なし(○を記入) (つながりを強化するためにできそうなこと)

【所管課】

【担当者名】

【内線】